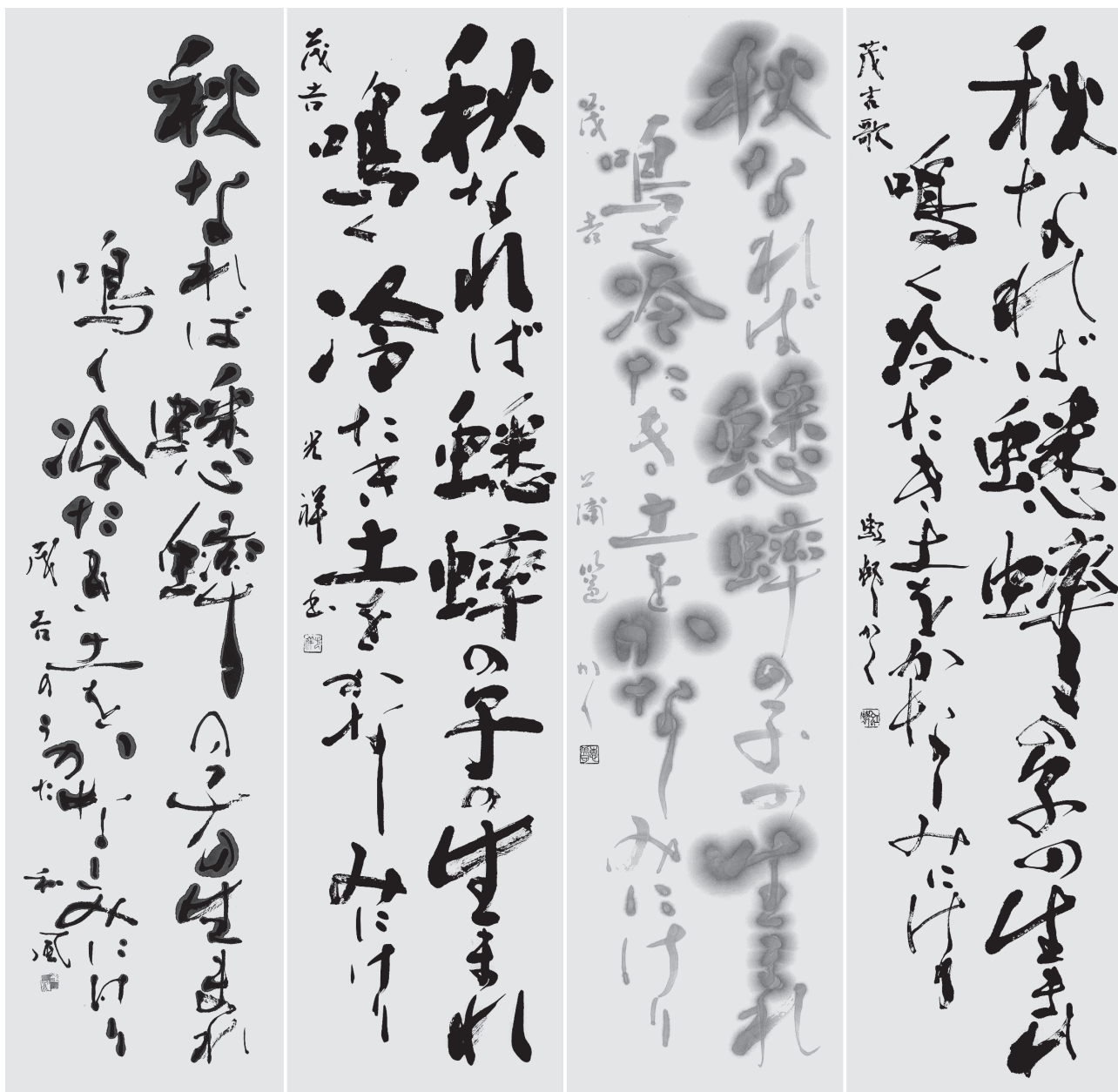


武良霜伯先生選評



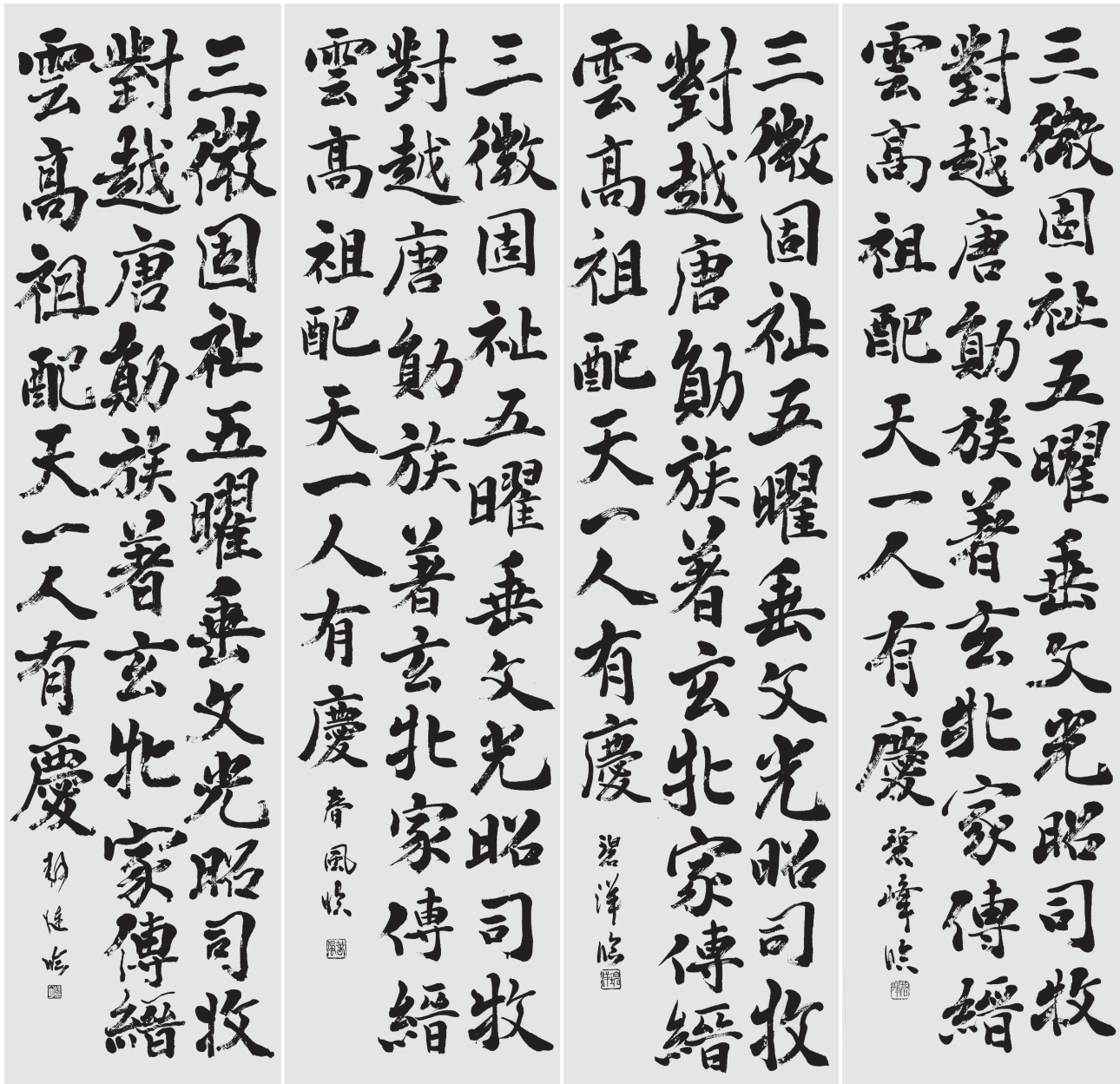
町田虹邨 推選
縦へ縦へと流れが良いのは、
気持ちの繋がりがついている
から。半折二行が息づき、
落款まで良く動いています。
筆運び、豊かな墨量に書歴
を感じます。

養島蒲邨 推選
淡墨のスペシャリスト。貴
殿の作には毎回感心させら
れます。多くの人が通り過
ごしている難しい淡墨作品
滲みを計算されながらの書
作に頭が下がります。

大辻光祥 推選
茂吉の歌に正面から堂々と
取り組んでおり、確かな筆
遣い、筆力旺盛、大らかな
呼吸で紙面に良く纏めてい
て素晴らしい快作です。鍛
錬の成果が窺われます。

大澤和風 推選
温かい墨が、晩秋の心地好
い季節のうたの表現に効果
的。単体の字形と間の取り
方が絶妙で、気持ちが前へ
前へと良く流れている。小
書きは上から書きたいです。

伊藤漢仙先生選評



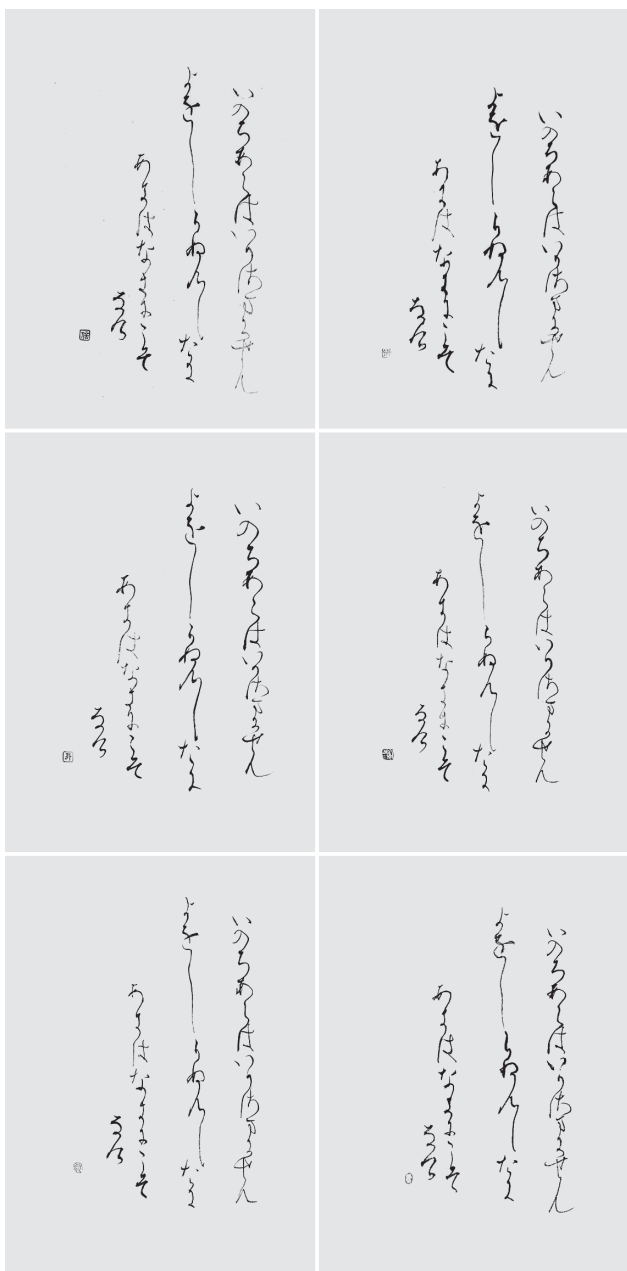
藤井碧峰 推選
潤渴の変化が自然で、沈着冷静、行間のあき等、全体のバランスが優れています。線質の深みもあり、原帖を良く見て書作されていて、風韻のある逸品です。

木下碧洋 推選
伸びやかな運筆で、筆の抑揚を利かせた秀作です。太細、遅速の変化が巧みで、余白が綺麗です。章法が素晴らしい作品です。

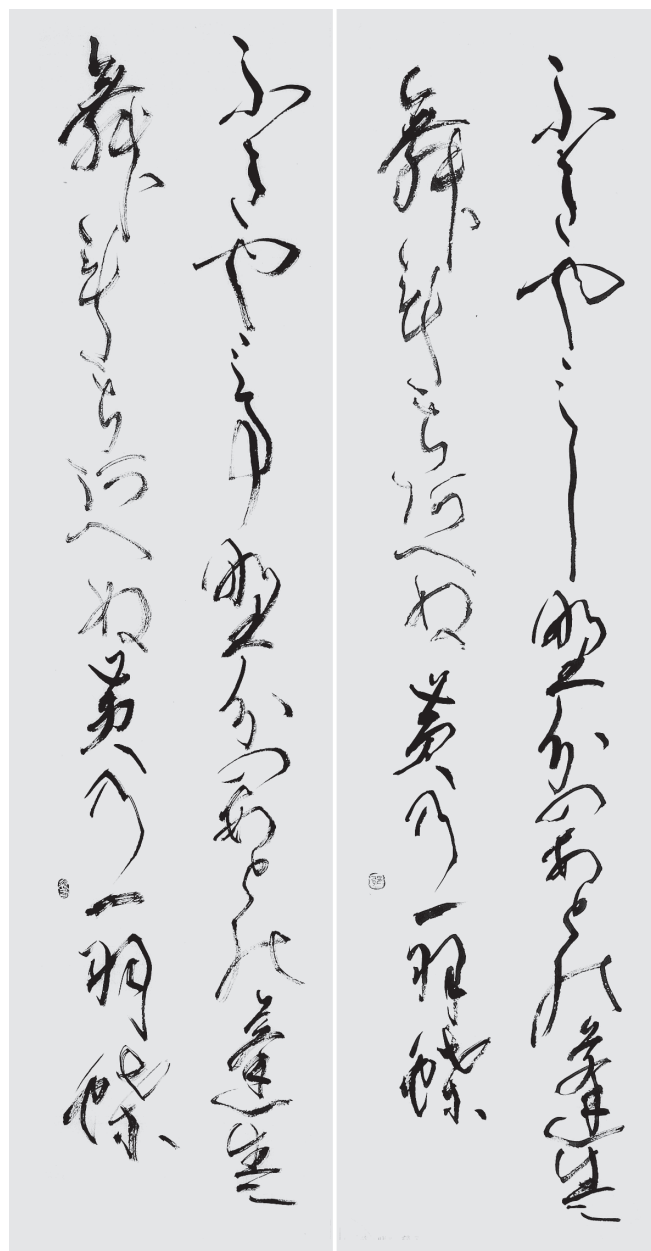
村上春風 推選
黒と白の調和が良く、半折として全体の配置が良く出ています。筆意も哀冊の特徴を良く捉えていて、感心します。線が澄んでいて、爽やかな趣のある作品。

佐藤静漣 推選
メリハリのある力強さと、潤渴の変化が良く、凛とした気魄が伝わってくる優作です。転折は丸みがあり、横への動きが大きく、安定感のある作。

赤富士北祭先生選評



白幡陽子先生選評



明石郁子 師範
先日東博で拝見した和泉甲集は、行が揺れながらも紙にくいこむような筆意あふれるものでした。この作も真跡に迫る筆者の高まりが感じられ、強さがある傑作。

堀山裕子 師範
初句の「いのちあらば」を丁寧な読みとり、中心移動による行の揺れ、浮沈による太細の変化と申し分なく、直筆を生かしたソフトな秀作。

小林悦子 師範
臨線ということばがあるが、切りこむような筆の冴えはもちろん、線の厚みもよく表現され、線を表現されることに拘りをもった豊かな作です。

川畑彩春 推選
ゆつたりと筆力を込めた筆致堂々と紙面にくい込み、程よい渴筆とリズムが作品を明るく見せています。一行目下部にもう少し墨量があれば更なる快作に。

明石郁子 推選
貫く筆線は粘り強く深い呼吸、落ち着きある筆運びが趣ある表情の作に仕上がりました。殊に「舞：一羽蝶」の受け継ぐ文字のゆるぎない豊かさお見事。

桜井信吉 準八
ゆつたりとした筆運びの中、筆の開閉を利かせた臨書作。古筆を丁寧な読みとり、潤渇の変化も自在。高段者の貫禄十分の堂堂たる作です。

伊藤幽昇 六段
掌の開閉による運筆が手慣れており、面を返しながらの右旋回の動きもよく表現されている。和泉の字間をよく観察しながら、しなやかな作に仕上げた。

日浅尚子 三段
要所で筆をつき返しながら、強さを表現された点がよいと思う。和泉のどのような要素を取り上げて創作に生かすのか、楽しみな作品です。

江幡太璫先生選評



小澤まなみ 師範
一本一本の線に優しさと品格があり力む事なく師範の風格を感じます。落款の位置、大きさも丁度良くお見事です。大ベテラなのでね。

江戸聖采 師範
各線の起筆、転折が良く、二本の右払いの勢い伸びやかさ素晴らしく若しい。何と言ってもしんじょうの位置が絶妙です。落款もいいですね。

佐藤治子 八段
貴方も起筆鋭く払いも伸びやかで線が生きています。一つ気になるのは「中」の転折が内に入りすぎ白が少なくなりまな。印下すぎたかな？

神田鶴泉 七段
丁寧にしつかりした線で書いています。最後の右払い後半もう少し太い方が安定感出ましたね。筆圧をかけてぐっと沈めて。印が欲しかった。

堀内静恵 準六
線の強さ、元気良さを買いました。気になるのは二本の右払いの後半。筆圧強く上に上げすぎたかな。印ももう少し大きい方がいいと思います。

東 靖宏 準五
羊毛をお使いなのでしょうか？起筆の円さが少し気になるのとやはり「中」の転折が内に入りすぎです。線に温かさ優しさを感じ伸びる充分印が欲しい。

塩川珠泉 師範
温かさ、強さ、深みのある線お見事です。小書きの六字と落款、書体、書風のバランスが抜群です。二字の大きさも丁度いいでしょう。

小林玖三子 師範
「頁」の転折は内側に反りすぎましたね。顔法を想わせる向勢(膨らみ)が欲しいです。伸びやかで明るい線です。「臨」の位置に雅印だと思います。

神田裕子 準師
「顛」と小書きの六字や大きい落款、筆高く抑揚のある大らかな線です。これに太細、大小を加味すればもっとリズム感が出て明るくなります。

長谷川亜由 八段
リズムに乗った勢いのある爽やかな線が魅力です。筆遣いに迷いがなく見事です。小書き六字もつと大小、太細が欲しかったです。

倉持武士 準八
「登」の右払いに顔法を意識した筆圧ひねり、太さがあれば後は申し分ないでしょう。小書き六字、落款共に素晴らしいです。

柴田聖子 六段
筆勢素晴らしく「頁」の四画目なども良く原帖を覗いています。さんずいの二画目左が長すぎると言扁に見えますので気をつけましょう。落款お見事。